

渋川市議会 会派 きぼう 視察研修報告

平成26年5月23日

代表 望月昭治

視察日程 平成26年5月20日から5月22日

視察場所 中華民国 台湾 高雄市 佛光山寺

視察議員 望月昭治 石倉一夫 飯塚清志 須田 勝 中澤広行

佛光山寺について

視察日 平成26年5月21日

説明者 佛光山寺 周 案内人

応対者 佛光山副住持 慧 傳 氏

中華民国・台湾・高雄市にある佛光山寺が本市に日本総本山・法水寺を建立することから、本国の佛光山寺について視察を行った。

高雄市には、台北市・台北駅から台湾高速鉄道で、左営駅に到着。佛光山寺の出迎えにより、現地へ向かった。



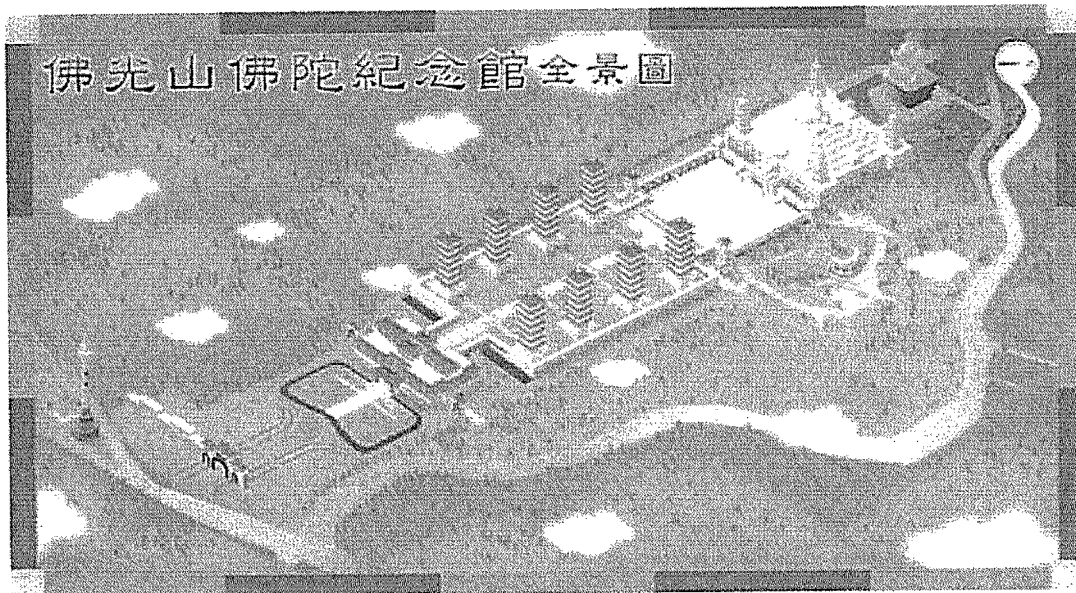
佛光山寺仏陀記念館

まず、案内されたのは、佛光山寺の敷地にある佛光山寺仏陀記念館であった。敷地302、500坪の広さを有す。2003年着工。9年を経て2011年

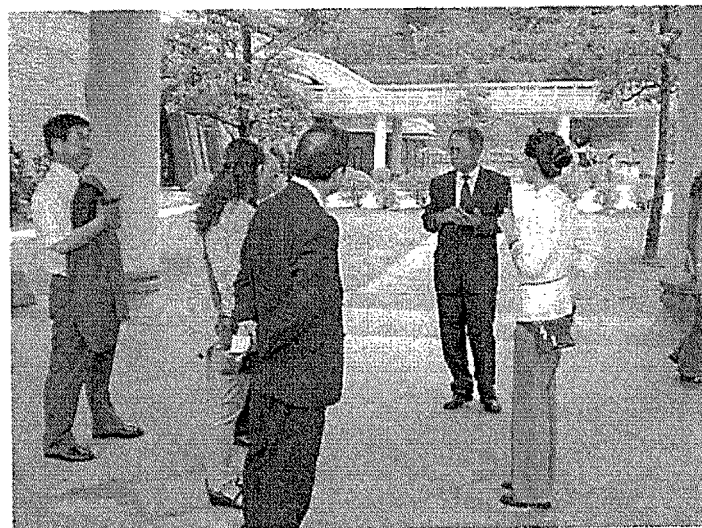


竣工。前方に八塔、後方に大仏、南方に靈山、北方に祇園が有り文化、教育、修行などに対応するという。

本館は、高さ50m、4000坪、地下1階、地上3階、屋上の蔵経閣には、百万部の写経を収蔵しているという。



佛光山佛陀紀念館 案内図（佛光山寺HPより）



右端の方は、佛光山寺 周 案内人

敷地を案内された後、礼敬大庁にて、副住持との会見を行った。

挨拶のあと、佛光山副住持 慧 傳氏から、世界的な社会貢献や東日本大震災、山梨県佛光山本栖寺での、豪雨の際に高校生を救助避難されたことなどについて、説明を受ける。

また、本市に建立中の法水寺について、伊香保温泉への誘客の一助になるとの見解が示された。

今後は、友好を重んじ、相互向上に貢献したいとのことであった。

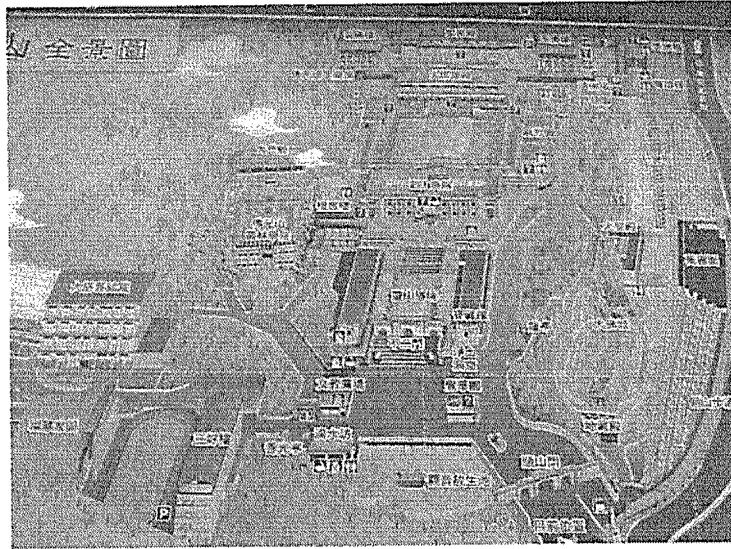


佛光山副住持 慧 傳氏

会見後は、隣接する佛光山寺へ移動。

佛光山寺は、昔は荒山でしたが、星雲大師の指導のもと、1967年5月16日から山を切り開き始めました。僧侶から伺った話によると、もともこの山はあるご夫婦のものでしたが、財務困窮に陥ったところを、星雲大師が引き受けたということです。山奥の辺鄙な場所でもあったので、多くの人が何でこんなところに？と最初反対したそうですが、法師の強い信念に弟子達の奉仕の精神が合わさり、その後信徒達の熱心な支持もあり、竹藪多い荒山を徐々に開墾。やがてここは台湾南部最大の仏教寺院となり、今では海外からも仏教の聖地と公認されるに至っています。

境内施設：敷地300万㎡ 僧侶数：約1、500人（台湾観光旅行ガイド 台北ナビより）



佛光山寺 案内図



こちらは、佛光山を訪れた人が必ず入るといふ寶殿。ここへ来るために佛光山へ来たという人がほとんどと言ってもよいでしょう。寶殿前の「成佛大道」は数千坪の広さがあり、3万人規模の集会にも使用されています。「大雄寶殿」は1800坪。殿内の天井までは100m。中央には、本尊である釈迦仏、阿弥陀仏、薬師如来の3体が並んでいます。大雄宝殿（本堂）の周囲には、釈迦牟尼佛聖像がなんと14800体並んでいます。

入口で「蓮の花」を受け取り、仏像前にお供えして、お参りします。

(台湾観光旅行ガイド 台北ナビより)

#### ●視察を終えて

本山の全容などその規模は、法水寺の数十倍であり驚愕であった。今後の建立の推移と僧侶や信者の動向に、注目したい。